



いきもの図鑑まとめ（2025年1月～3月） Vol.5

鳥類、両生類、昆虫類、貝類、その他の動物、植物の報告がありました。主なものは以下のとおりです。（外…外来生物、特外…特定外来生物 sp. …～のなかま）

【鳥類】4種

シロハラ、ハクセキレイ、アオバズク、カケス

【両性類】1種

トノサマガエル

【昆虫類】5種

ナナホシテントウ、オオトビモンエダシャク、ガ sp. など

【その他の動物】1種

ジグモ

【植物類】3種

シロバナタンポポ、タチツボスミレ、ナズナ

<コメント>

今回で第5回目の報告となります。真冬から早春にかけて、生き物が少しずつ増えていく（あくまでイメージです）季節のレポートです。投稿数も前回よりも減少し、合計15件（前回比29件減）の投稿をいただき、15種（前回比25種減）の生き物種でした。ありがとうございました。

冬はどうしても生き物が目につきにくい季節です。しかし、厳しい冬を乗り越えるために、生き物は様々な形で生き延びる術を持っています。冬眠をしたり、卵や幼虫やサナギなど、エネルギーを最小限に抑えて、また春になれば活発に活動するのです。但馬の冬は、気温が低く、山間部ではしばしば大雪に見舞われます。生き物がじっと耐える冬に、どのような種類の生き物が人の目に触れるのでしょうか。今回は、冬でも活動可能な鳥類と、早春の開花植物のレポートが特徴でした。越冬中のトノサマガエルは、まるまるしており、微笑ましいですね。

さて、次回は、4月～6月の春から初夏のレポートになります。朝来市内にはどんな生き物が住んでいるのか、まだまだ分からないことがたくさんあります。多くの方からのご報告をお待ちしております。

（お願い）お寄せいただいた情報の中には、朝来市外や人工品種（植物）が含まれています。この投稿は、みなさまに生物に興味を持っていただくことを目的としていますが、**朝来市内の野生動植物の生息調査**として実施しておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



【生物写真の紹介】



シロハラ (枚田) 投稿： —



ハクセキレイ (楽音寺) 投稿： —



トノサマガエル (法道寺) 投稿： 雑賀忠文さん



ジグモ (法道寺) 投稿： 雑賀忠文さん



ナナホシテントウ (法道寺) 投稿： 雑賀忠文さん



コベソマイマイ (法道寺) 投稿： 雑賀忠文さん



シロバナタンポポ (法道寺) 投稿： 雑賀忠文さん



ナズナ (法道寺) 投稿： 雑賀忠文さん